

平成29年度第1回市政モニター会議会議録

日時 平成29年5月22日(月)

午後2時～4時

場所 市役所7階会議室7

1. 委嘱状交付

2. 市長あいさつ

3. 自己紹介

4. 市長との懇談

市長からマニフェストについての説明があった後、質疑応答に入った。

【モニター】今回、公募や推薦で集まったモニターには若い人がいない。若い人たちの意見も取り上げた方がよいと思うが、どういった経緯でこの人選になったのか。

【事務局】広報紙やホームページでまずは公募し、その後、若い人も含め知り合いに声をかけさせてもらったが、若い人にモニターをやってもらうことはできなかった。ただ、市政モニター会議で意見を聞く以外にも、タウンミーティングやホームページなどさまざまな意見を聞く手段があるので、若い人の意見を補完できると考えている。

【市長】今年の7月に子育て世代のお母さんらとタウンミーティングを開催する予定がある。また、それ以外にもPTAで意見を聞いたり、無作為抽出で委員になってもらえないかとお願ひしたりするなどの方法を取ることも今後考えていきたい。幅広い年齢層、性別の意見を聞いていきたいと思っている。

【モニター】フィードバック体制について、議論をしてもなかなか実行してもらえない。これでは若い人にも参加してもらえないのではないか。

【市長】協働推進課では、今まで聞きっぱなしであった区の課題や問題を、一昨年から区長さんに対応状況を報告させてもらっている。

【総務部長】昨年実施した「いわくらしやすい」の会議では、インターネットで参加者を募り、参加できない人のために意見もインターネットで投稿できるようにした。集まって話し合えればそれが一番いいが、若い世代に合った意見の集め方があると思う。フィードバックの大切さについては職員も理解しているので、少しずつになってしまいうかもしれないが、取り組んでいきたい。

【モニター】広報モニターに昨年度参加したが、会議は1回きりで、どうだったのか反省

もない。また、広報のモニタリングというより写真の提供が主な役割だった。

【総務部長】 広報モニターについては、今後考えていきたい。

【モニター】 5月1日の交通死亡事故の現場を目撃し、対応した。この場所での死亡事故は2度目であり、5月2日に危機管理課に再発防止のため対策するよう伝え、真っ赤なペイントを塗ることで注意喚起することになった。その後、警察官が事故現場に立ち、ボランティアも子どもの見守りとして立ったが、市のペイントはいまだ実施されていない。なぜか理由を聞くと「いろいろな区からの要望があった後、入札をして、それからでないと動けない。」とのこと。命に関わることなので、すぐに取り掛かるべきではないか。

【市長】 ペイントは入札ではなく、随意契約で今週中に実施することになった。

【モニター】 ごみの分別をしている時に、免許の返納について高齢者の方と話す機会があり、町の高齢者率について興味を持ち、市のホームページを見た。市のホームページには平成22年度に実施された国勢調査の結果しかなく、市の担当者に聞いたところ、「平成27年度に実施した国勢調査の結果は市は持っていないので、国勢調査の統計室に問い合わせしてくれ。」と言われた。最新のデータを保有していないようでは、政策形成ができるわけがないと担当者に伝えるも、担当者から「意味が分からない。」と言われた。

【市長】 体制について、まだ職員に浸透していなかったのは申し訳ない。今一度、ワンストップサービスの大切さを伝え、体制を変えていかなければならないと思っている。

【モニター】 若い人の意見をこの会議で発表してもらえれば、この会議に若い人がいなくても、若い人の意見を聞いたことになるのではないか。

【総務部長】 市民意向調査や総合計画書で若い人の意見を資料として持っている。必要に応じて会議で見せることはできる。

【モニター】 この会議で出た意見に対して若い人に意見をもらえるか。

【総務部長】 モニター会議で出た意見について1回1回若い人の意見を集めるのは現実的に難しいため、市で持っている統計的な数値を見せることになる。

【モニター】 意見を聞いたままにしておくのは問題だと思う。自分が出した意見に同調するのがどれくらいいるか、どんな意見が多かったのかなどホームページで返してあげては。

【総務部長】 市民アンケートは広報もしくはホームページで公表しているので、自分の出した意見がどうだったのか知ることができる。

【モニター】 若い人の意見を聞いて会議に出るという姿勢が大切だと思う。

【市長】 個人としてだけでなく、皆さんが市政モニターとして身近な人から聞いた意見を代弁してもらえるとありがたい。市政モニターあるいは、地域のモニターとして行政と地域をつなぐ架け橋のような存在になってくれれば助かる。

- 【モニター】この会議の議事録はホームページで公開するのか。
- 【総務部長】計画策定の審議会や教育委員会の議事録は公開しているが、市政モニター会議の議事録を公開したことはない。
- 【モニター】市政モニター会議でどういう意見が出たのか、どういう話し合いをしているのかを公開することで、若い人の意見の返答にもなるのではないか。また、公開した方が次回にモニターになってくれる人も増えるかもしれない。
- 【総務部長】公開して終わり、ではいけないと思うので、その点も含め今後検討していきたい。
- 【モニター】過去にこの会議をやってきてメリット、デメリットはあったか。
- 【総務部長】さまざまな意見を聞くことができる貴重な場だと思っている。今回は初回で市長との懇談ということで市政全般についてだが、今後は各担当部長との懇談になり、現在市が取り組んでいることなど細かいところまで説明し、話し合うことができる。
- 【モニター】毎年会議をやっていて次回はこういうふうにしたいなど具体的なものはあるか。
- 【総務部長】すぐに反映できるものは反映してやっているが、毎回テーマを変えてやるので、いただいた意見を次回すぐに反映させることは難しいこともある。ただ、各部長は2年に1回必ず話をする機会があるので、一職員として改善できることは改善していきたい。また、部長会議で改善点について話し合ったりすることもある。
- 【モニター】町内の高齢者が増え、区長や役員のなり手が見つからなくなってきている。
- 【モニター】子ども会やゆうわ会、区の組織は本当に後継者がいない。また、高齢者率も高く、今後ますます増える認知症患者を誰が面倒見ていくのかという心配がある。
- 【モニター】町内の高齢者に関するデータをとって今後役員になってくれる人を探したりしたいが、個人情報に関することは市は提供できないので、自分たちで何とかするしかない。また、若い人たちの意見も聞きたいが、30代から40代は忙しく、イベントを開催してもほとんど参加してもらえない。
- 【総務部長】民間のサービスでは、地域や世代を限定したアンケートを実施することができ、回答してくれた人にはポイントがついたりする。そのようなツールも今後活かされればと思っている。
- 【モニター】町内でおまつりを復活させ、さまざまな世代が集まる場を作ればと思っているが、区の資金を使うためには、資金の捻出に時間がかかる。どういう風にやればいいのか考えているが、コミュニティの場に支援をもらえる制度がないものか。
- 【市長】コミュニケーションづくりは大切だと思う。コミュニケーションが多い地域は役員などのなり手も見つかりやすいと感じている。
- 【モニター】随時報告用紙は子ども会等に配布して書いてもらってもよいか。
- 【総務部長】市政モニターとして委嘱しているものなので、皆さんが聞いてきたことを皆さんが書くというのであれば問題はない。

【モニター】防犯カメラについて、市が設置するポイントを決めて設置していくという
とか。

【市長】地域の皆さんの意見を聞きながら設置したいと思っているが、例えば通学路
など優先順位の高いところから設置することになると思う。また、設置することで市
民の監視と捉えられないようしっかりと説明をしていかなければならない。まずは、
どういった場所に設置するかルールづくりが必要である。

【モニター】岩倉には信号に防犯カメラがついているのはあるか。

【総務部長】岩倉市にはない。他市では信号につけているところもある。岩倉市では自転
車盗が多いため、自転車駐輪場にのみ設置しており、後はお店が防犯のために設置し
ているものである。

以上

5. その他

協働推進課長より市政モニターの手引き及び今後の会議の予定について説明をし、終了。

・随時報告用紙の回答について、これまで提出のあった本人に配布するのみであったが、
情報共有のため、市政モニター全員に配布することになった。